

第3期八戸市中心市街地活性化基本計画の結果に関する意見書

当市中心市街地においては、八戸市中心市街地活性化協議会並びに八戸商工会議所、(株)まちづくり八戸及び行政や中心市街地関係者等が連携しながら、官民一体となって活性化に向けた取り組みを進めている。

数年続いたコロナ禍の収束により、観光関連施設では以前のにぎわいを取り戻しつつあり、飲食店等の新規出店も見受けられるほか、旧チーノ跡地では民間再開発事業の工事も着実に進んでいる。一方で、この間に閉店した百貨店空き店舗などに関する課題は大きく、引き続き、当市中心市街地の遊休不動産の活用に関して、官民が協力した対策が必要と考える。

令和5年度末をもって終了した第3期基本計画は、計画期間の多くが新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける厳しい環境下であったが、目標指標のうち「中心市街地における人口の社会増減数」については、目標値を達成した一方、「歩行者通行量」と「公共施設来館者数」、「空き店舗・空き地率」については、残念ながら未達成という結果になった。

八戸市においては、その要因等について調査・分析するとともに、令和6年度当初より開始した、第4期基本計画では新たな目標の達成を目指し、適切な対応策を講じて進めていただきたい。

八戸市中心市街地活性化協議会

会 長 武 輪 俊 彦